

令和8年度盛岡市予算の概要について

1 予算規模【資料1】・キャッチフレーズ

◇総額 1,265億 1,000万円

◇「市民と共に 新たな一歩を踏み出す 夢はじまり予算」

令和8年度一般会計予算の総額を 1,265億 1,000万円とした。

7年度当初予算との比較で、22億 3,000万円、1.8%の増となっている。

また、令和4年度に次いで、過去2番目の予算規模となった。

全国的に賃金改善の動きはあるものの、引き続き物価高騰や金利上昇などの影響により、市民生活や地域経済活動は依然として先行き不透明な状況にある。こうした中、令和8年度の予算編成においては、厳しい財政状況のもと、ふるさと納税による寄附額10億円に向けた取組を始めとする歳入の確保を図りながら、宿泊税を活用した観光の取組強化、企業誘致や物流拠点整備といった中長期的な取組を通じ、地域経済を強くするとともに、市民が安心して暮らし、市民サービスの向上につながる取組を進め、できる限り基金繰入れに依存せずに、総合計画の共に目指す将来像である『輝きが増し 活力に満ち 夢をかなえるまち盛岡』、明るく元気な盛岡の実現に向けた予算化に努めたところ。

特にも、人口減少下においても、誰もが活躍できる社会を市民と共に創造していくため、重点的・施策横断的に人口対策を推進する「未来創造プロジェクト」を中心に予算を重点配分した。

2 総合計画基本目標における主な新規拡充等事業【資料2】

基本目標1 豊かな地域資源が活力を生み出すまちづくり

【新規事業】

- ・若者・女性に選ばれる職場づくりの推進
- ・市内IT企業への若者の就職促進、高度ITビジネススキル習得支援による高度IT人材の育成

- ・ 中心市街地での分煙施設整備に係る補助の実施
- ・ 「東北絆まつり2026盛岡」の開催
- ・ 宿泊税活用事業の実施
(新規ターゲット国等へのプロモーション、盛岡駅観光案内所誘導サイン整備、MICE誘致拡大調査、「つなぎでつなぐ盛岡さんさ踊り」実施日数の増、宿泊修学旅行生への特産品プレゼントなど)
- ・ 農地の耕作条件改善に係る測量設計等の実施（北ノ浦地区・状小屋地区）
- ・ 先人の追加顕彰検討に係る選定委員会の設置

基本目標 2 人を育み未来を選べるまちづくり

【新規事業】

- ・ 盛岡市こども計画推進事業（こどもの権利保障・促進事業）
- ・ 5歳児健康診査の実施
- ・ 小学校給食における完全無償化の実施
- ・ 中学校給食食材費補助を通じた保護者負担の軽減
- ・ 小中学校の学習用端末の更新

【拡充事業】

- ・ 完全給食の実施に向けた新たな給食センターの整備
(実施方針等の作成、特定事業選定等)
- ・ 小・中学校へのエアコン設置の実施
(特別教室、通級指導教室、増加予定の普通教室)

基本目標 3 人がいきいきとつながり支え合うまちづくり

【新規事業】

- ・ 地縁組織アドバイザーによる町内会等の伴走支援の実施
- ・ ひきこもり支援に関する市民理解の促進（フォーラム開催等）
- ・ R S ウイルス感染症母子免疫ワクチンの定期接種化

【拡充事業】

- ・ 成人歯科健診を節目年齢とし、若年層（20歳、30歳）に拡充するほか、受診券個別発送を実施
- ・ 高齢者（75歳以上）インフルエンザワクチン接種に、高用量ワクチンを追加（従来の標準量ワクチンとの選択制）

基本目標4 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

【新規事業】

- ・公共交通不便地域における地域内交通の試験運行の実施
- ・地域住民等が主体となる地域内交通の取組に係る補助の実施
- ・外部人材の活用によるエリアプラットフォーム構築に向けた取組
- ・積雪モニタリングシステムの導入による除排雪事業の効率化

【拡充事業】

- ・まちなか・おでかけパスの販売に係る補助金の増
- ・動物愛護管理センター整備に係る実施設計等の実施
- ・動物病院整備に係る実施設計等の実施
- ・公共施設照明のLED化（内丸分庁舎、リサイクルセンター、盛岡市立高校、盛岡駅地下自由通路、盛岡駅東西自由通路、盛岡駅西口地区道路照明灯ほか）

複数の基本目標に関わるもの

- ・使用料見直しの一部を活用した市民が利用しやすい施設の環境整備（地区活動センターや公民館等の修繕・備品の更新）

以上のことを踏まえ、令和8年度一般会計予算については、

「市民と共に 新たな一步を踏み出す 夢はじまり予算」

としたところである。

3 未来創造プロジェクト事業【資料3】

◇2つのプロジェクトで人口対策事業を重点化

(1) 働きたい・住みたい・行ってみようまち創造プロジェクト

(48事業／事業費：20億9,796万円)

〔新規事業〕

- 1 働きたい職場づくり推進事業 (4,800千円)
⇒ 若者や女性に「働きたい」「働きたい」と思われる市内企業を増やすため、職場風土の改善に向けた勉強会や伴走支援を実施。
- 2 若者・女性に選ばれる職場形成推進事業 (1,280千円)
⇒ 職場でのアンコンシャス・バイアスの解消など、男女共同参画の視点で職場風土改善を促進し、魅力ある企業の増加と人材定着に向けた取組を実施。

- 3 高度 I T 人材育成支援事業 (15,800 千円)
⇒ 学生・若者を対象としたデジタル技術の習得支援や市内 I T 企業を対象としたプロジェクトマネージャーの育成により、市内の高度 I T 人材を育成。

〔拡充事業〕

- 1 MICE (マイス) 誘致推進事業 (17,000 千円)
⇒ 市内への大規模な消費の喚起につながる一定規模以上の国際会議やコンベンションの開催の支援及び誘致拡大に向けた調査研究。
- 2 観光客誘致宣伝事業 (34,860 千円)
⇒ 観光客の誘致促進を図るため新規ターゲット国へのプロモーションを積極的に展開するほか、駅観光案内所への誘導サインの整備などを実施。
- 3 大型観光キャンペーン事業 (252,844 千円)
⇒ 「東北絆まつり2026盛岡」を開催するほか、観光 P R を実施。
- 4 教育旅行誘致事業 (2,420 千円)
⇒ 岩手県教育旅行誘致説明会への参加や修学旅行ガイドブックを作成により、修学旅行の誘致に努めるほか、10 月以降に宿泊する修学旅行生に特産品をプレゼント。
- 5 広域観光推進事業 (15,604 千円)
⇒ 広域観光を推進するため、各種広域連携事業の展開や関係団体への支援補助を実施。

(2) 夢を持ち喜びを感じられる子育て応援プロジェクト

(25 事業 / 事業費 : 26 億 9,732 万円)

〔新規事業〕

- 1 5 歳児健康診査事業 (4,558 千円)
⇒ 就学前の 5 歳児を対象に、心身の発達状況や生活習慣等を把握し、子どもの特性を早期に発見するための健康診査を実施。
- 2 私立児童福祉施設整備助成事業 (109,313 千円)
⇒ 保育環境の改善及び安全性の確保を図るため、大新保育園の施設整備に対する補助を実施。
- 3 乳児等通園支援事業 (3,919 千円)
⇒ 子どもの良質な成育環境を整備するとともに、全ての子育て家庭に対し、多様な働き方やライフスタイルにかかわらない形での子育て支援を強化するため、子ども誰でも通園制度の本格実施。

4 補足説明

(1) 特別会計・企業会計【資料1：1ページ】

〔特別会計〕

- 母子父子寡婦福祉資金貸付事業費特別会計
⇒償還金の減などにより、42.0%の減
- 国民健康保険費特別会計
⇒保険給付費の増などにより、0.5%の増
- 介護保険費特別会計
⇒居宅介護サービス給付費の増などにより、2.7%の増
- 後期高齢者医療費特別会計
⇒後期高齢者医療広域連合納付金の増などにより、13.2%の増
- 中央卸売市場費特別会計
⇒市場整備費の増により、19.9%の増
- 新産業等用地整備事業費特別会計
⇒第二事業区の用地整備事業費の減などにより、91.5%の減
- 特別会計の計 ⇒介護保険費特別会計等の影響により、0.5%の増
- 一般会計と特別会計の総合計 ⇒25億 90万 9千円、1.4%の増

〔企業会計〕

- 水道事業会計の収益的支出と資本的支出を合わせた支出計 ⇒ 9.9%の増
- 下水道事業会計の収益的支出と資本的支出を合わせた支出計 ⇒ 4.0%の減
- 病院事業会計の収益的支出と資本的支出を合わせた支出計 ⇒ 2.7%の増

(2) 一般会計歳入【資料1：2ページ】

○第1款 市税

⇒市税全体

給与所得の上昇による個人市民税の増額や、固定資産税の増額が見込まれるほか、10月から新たに導入を予定している宿泊税を含めて、市税全体では、7年度予算と比較し、10億4,013万8千円、2.4%の増額見込。

○第2款 地方譲与税 ～ 第11款 地方特例交付金

⇒法人事業税交付金や地方消費税交付金などの伸びが見込まれることから、10.0%の増額見込

○第12款 地方交付税

⇒令和7年度の決算見込額を基に、国の地方財政計画の伸び率、市税や各種交付金、譲与税などの状況を勘案して、3.7%の増額見込

○第16款 国庫支出金

⇒物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の減があったものの、障がい者自立支援事業費負担金や公立学校情報機器整備費補助金の増などにより、1.5%の増額見込

○第17款 県支出金

⇒給食費負担軽減交付金の増などにより、8.0%の増額見込

○第19款 寄附金

⇒ふるさと納税の増により、96.4%の増額見込

○第20款 繰入金

⇒公共施設等整備基金の取崩し 3億円

市債管理基金の取崩し 5億 7,072万円

財政調整基金の取崩し 5億 4,551万円

財政調整基金の令和8年度末残高見込 37億 7,241万円

○第23款 市債

⇒土淵地区活動センター大規模改修工事や（仮称）都南東部体育館整備事業の進捗に伴う減額により、9.3%の減額見込

⇒市債発行額の割合 一般会計予算総額の 6.2%

⇒プライマリーバランス 黒字となる見通し

⇒令和8年度末市債残高見込 1,330億 6,642万円

市民一人当たり約48万5千円（令和8年1月末現在住民基本台帳人口 274,587人）

(3) 一般会計目的別歳出【資料1：3ページ】

○第2款 総務費

⇒定額減税補正給付金支給事業、システム標準化に係る事業の減などで

13億 8,200万円、9.7%の減

○第3款 民生費

⇒訓練等給付事業、認定こども園等運営費給付事業の増などで

12億 3,500万円、2.3%の増

○第4款 衛生費

⇒予防接種事業、火葬場管理運営事業の増などで

4億 6,633万円、5.0%の増

○第7款 商工費

⇒盛岡南地区物流拠点整備事業、大型観光キャンペーン事業の増などで

2億 339万円、13.2%の増

○第8款 土木費

⇒都市基盤河川改良事業、中ノ橋通一丁目地区市街地再開発事業の減などで

14億 8,329万円、 11.0%の減

○第10款 教育費

⇒コンピューター教育設備整備事業、小学校給食運営事業、上田公民館大規模改修事業の増などにより

27億 9,372万円、 26.9%の増

(4) 令和8年度当初予算主な事業一覧【資料4】

各会計の主な事業について、次のように表示し、目的別にまとめている。

- ・「事業名の☆」 ⇒新規事業（68事業）
- ・「未創P」 ⇒総合計画の未来創造プロジェクト事業
- ・「長寿命化」 ⇒公共施設保有最適化・長寿命化計画事業
- ・「新市建設」 ⇒旧玉山村との新市建設計画事業
- ・「合併建設」 ⇒旧都南村との合併建設計画事業
- ・「宿泊税」 ⇒宿泊税活用事業

5 その他

(1) 当初予算額の推移

平成22年度以降、 1,000億円台で推移している。

令和8年度予算は、1,265億 1,000万円で、過去2番目の予算となった。

年度	当初予算額 (単位：百万円)	前年度比	年度	当初予算額 (単位：百万円)	前年度比
26	106,070	2.6%	3	118,866	3.5%
27	111,330	5.0%	4	127,620	7.4%
28	111,188	△0.1%	5	121,870	△4.5%
29	107,660	△3.2%	6	121,330	△0.4%
30	110,640	2.8%	7	124,280	2.4%
元	111,530	0.8%	8	126,510	1.8%
2	114,890	3.0%	〔7⇒8〕 22億3,000万円の増〕		

(2) 財政調整基金等、主要三基金の残高について

財政調整基金の令和8年度末残高見込額は、約37億7,241万円。

7年度末の残高見込額（＝約40億80万円）に対して、約2億2,838万円の減少となる見込みである。

◇主要三基金の年度末残高見込額

（単位：千円、％）

区 分	R 8 末見込	R 7 末見込	増減額	増減率
財政調整基金	3,772,413	4,000,796	△228,383	△5.7
市債管理基金	3,543,521	3,429,414	114,107	3.3
公共施設等整備基金	641,212	938,078	△296,866	△31.6
合 計	7,957,146	8,368,288	△411,142	△4.9

(3) プライマリーバランスについて

市債の新規発行額、約78億5,830万円を見込み、元金償還額が約117億1,940万円（差＝約38億6,110万円）であることから、プライマリーバランスは、7年度に続き、黒字となる見込みである。

- 長寿命化計画事業に係る市債について、新規発行額を42億2,570万円としており、7年度（＝50億6,940万円）に比べて、8億4,370万円、16.6%減少した。
- その他事業に係る市債について、新規発行額を36億3,260万円とした。小中学校のタブレット更新に係るデジタル活用推進事業債などの増があり、他の事業に係る市債の圧縮に努めたものの、7年度（＝35億8,990万円）に比べて4,270万円、1.2%増加した。

◇市債発行区分

（単位：千円、％）

区 分	R 8 新規発行額	R 7 新規発行額	増減額	増減率
臨時財政対策債	0	0	0	0
長寿命化計画事業	4,225,700	5,069,400	△843,700	△16.6
その他の事業	3,632,600	3,589,900	42,700	1.2
合 計	7,858,300	8,659,300	△771,000	△9.3

※) 「その他の事業」に係る新規発行額の増減に係る主な事業は以下のとおり。

- （仮称）都南東部体育館整備事業債 △127,600千円減
- 盛岡南地区物流拠点整備事業債 125,600千円増
- デジタル活用推進事業債 395,700千円増

(4) 資料4の主な事業一覧の新規事業数について

8年度は一般会計で、盛岡体育館長寿命化修繕事業など、68事業、3,374,484千円となっている。(7年度=65事業、2,377,920千円)

また、特別会計では、0事業となっている。(7年度=0事業、0千円)

(5) 資料4の主な事業一覧の「新市建設計画」の事業数について

8年度は一般会計で、農業基盤整備事業など、6事業、325,492千円となっている。(7年度=9事業、478,787千円)

(6) 資料4の主な事業一覧の「合併建設」の事業数について

8年度は一般会計で、(仮称)都南東部体育館整備事業など、4事業、506,018千円となっている。(7年度=6事業、910,864千円)

(7) 資料4の主な事業一覧の「宿泊税」の事業数について

8年度からの新規事業として、観光客誘致宣伝事業など9事業、78,618千円となっている。

(8) 施設の長寿命化計画関連事業等について

施設の長寿命化関連事業については、公共施設の最適化・長寿命化計画に基づく教育施設の大規模改修事業など、約51億5,352万円の予算額となる。7年度と比較すると、最適化・長寿命化計画では実施個所数の減少に伴う減、設備等長寿命化修繕では、公共施設等適正管理推進事業債を活用し外壁修繕などの事業を実施するものの、体育館などの高額な修繕がないことから減、その他でも修繕箇所の減などにより、全体では約14億8,304万円、22.4%の減となっている。

◇施設の長寿命化関連事業

(単位：千円、%)

区 分	R 8 事業費	R 7 事業費	増減額	増減率
最適化・長寿命化計画	4,647,680	5,977,333	△1,329,653	△22.3
設備等長寿命化修繕	126,313	199,430	△73,117	△36.7
その他	379,527	459,793	△80,266	△17.5
合 計	5,153,520	6,636,556	△1,483,036	△22.4

※1) 「最適化・長寿命化計画」は、公共施設の最適化・長寿命化計画に基づく事業

※2) 「設備等長寿命化修繕」は、公共施設設備等長寿命化修繕計画に基づく事業であり、施設の長寿命化のために行う電気設備等の修繕

※3) 「その他」は、上記計画には含まれていない庁舎・施設などに係る修繕等を行う事業